

大下正男 おほした まさお 美術雑誌編輯者、出版人。明治二十二年一月十日東京小石川生れ、昭和四十一年二月四日没（一九〇一—六六）。洋畫家大下藤次郎の長男。大正十四年早稻田大學建築科を卒業し、曾祖父・中條建築事務所に入る。父の創刊した美術雑誌『のみづる』を継承、在學中から編輯に携はり、昭和八年からは編輯長兼人となつた。十二年舊同僚と大下・岡本建築事務所を興すと二年足らずに解散。十六年美術雑誌『新美術』と改稱（二十一年『のみづる』を復す）。十八年日本美術出版株式會社を設立し、社長に就任（二十二年美術出版社に改名）。爾後、雑誌『制作』、『ニ彩』、『美術手帖』、『美術批評』等を創刊、美術書の出版にも力を傾注。全日本村田冲華故郷連会死去。

『追想大下正男』（「追想大下正男」編集委員会編、昭和四十一年一月四日美術出版社）がある。

